



ようこそ

# 道の駅あゆの里矢田川

## 開業 1999年(平成11年)

食堂、休憩施設、トイレ、駐車場、親水広場(RVパーク)、野外広場、藤棚、展望台、あゆの鐘、芝生広場など。  
地域総合整備事業、水力発電施設周辺地域整備事業として、平成6年～10年度に8億5,000万をかけて、整備。

## 営業成績の下降

開業20年になるが、最大の売上は5,000万/年、最小は1,200万/年の昨年。日本一ダメな道の駅を名乗る。  
当初は、道の駅という仕組み自体珍しく、加えて、鮎を食べられる他にない特徴が受け入れられた。  
近年は、京阪神から豊岡方面へ客が流れており、駅に隣接する県道4号線の利用が減少、成績下降となった。  
ただし、内外の風評も大きく、まともな営業ができていなかったと思われる。事実、周辺に他の大きな店舗がある。

## 阿瀬駅長のやり方

1977(S52)年生まれ。妻、長男、3人家族。プログラマ、広告業、観光協会の広報係を経て、2017/12～、駅長になる。  
売れる・売れないで店を評価し直して、売れない要素を取り除く。費用対効果を意識して、アルバイトの就労時間見直し。  
情報コーナーの再構築で町内パンフレットを重点配置、トイレの管理徹底、物販コーナーの新商品導入、料理の構成見直し、敷地内の掃除など。コツコツと目配りの範囲を広げる。

## 考え方

難しく考えず、大事なことをすばりやる。低品位なままに始めて、順次改める。強引でなく、等身大であること。  
地域力を高めること、意識する。全員の共感には難しいが、敵を作らず、可能な限りに肯定する。観光協会の出張所という感覚。  
お客さんをよく見て、聞かれる前に最低限を案内する。ゴミは積極回収、他の観光地をまわり、うちで後始末を担当。  
道の駅としては、昔に戻ることを目指す。過去取り組んできた先輩の考え方に学ぶ。

## インターネット発信

今年1月より、ソーシャル発信へさらに注力。インターネットでコツコツと発信開始。  
駅の目新しさを伝えることに加え、駅長の変人ぶりを披露して、道の駅×駅長の倍速で広報を頑張る。  
駅長の仕事として、広報は1/3程度の時間を割く。インターネット上のやりとりは、当日中にできるだけ返事。  
時間をかけただけの効果あり。



●お食事処 ●お土産処 ●トイレ ●情報コーナー ●大平公園 ●あゆの鐘

## メディア露出

神戸新聞など各紙掲載、  
ユーチューブらんたいむ、  
テレビ・月曜から夜ふかし、  
テレビ・ひょうご発信など。



## ネット展開

公式サイト運営、ツイッター、  
フェイスブック、インスタグラム、  
各種インターネットのサービスを駆使。

## 料理・お土産

鮎料理(近年不漁で苦勞)、但馬牛うどん、  
鮎の甘露煮、村岡米、へしこなど。

## 敷地展開

敷地の広さと川を活かす意味で、アウトドア利用を推進。  
キャンプ場やRVパークとして活用。

## 宣伝! 矢田川まつり

7/7(土) 10:00～道の駅あゆの里矢田川河川敷  
鮎の塩焼き、鮎放流、さかなつかみ取り、環境作文発表、  
矢田川パネル紹介、イカ焼き、かき氷などなど。

